

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 25 日現在

機関番号：13301

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2008～2012

課題番号：20251006

研究課題名（和文）移牧先農耕の盛衰と西アジア遊牧文化の起源

研究課題名（英文）Outpost and the Origin of Pastoral Nomadism in the Near East

研究代表者

藤井 純夫 (FUJII SUMIO)

金沢大学・歴史言語文化学系・教授

研究者番号：90238527

研究分野：西アジア考古学

科研費の分科・細目：史学・考古学

キーワード：ヨルダン、新石器文化、ダム、遊牧、移牧

1. 研究計画の概要

西アジア遊牧文化の起源を、「移牧先簡易灌漑農耕の盛衰」という新たな視点から追跡・解明すること。それが、本研究の目的である。そのため、1) ヨルダン南部ジャフル盆地における新石器時代ダムの分布調査を実施し、2) これによって確認されたダムと、（その運営母体である）隣接集落遺跡を一体的に発掘調査すると同時に、3) 比較資料として、シリア中部ビシュリ山系の初期遊牧民遺跡とこれに伴うダム遺構を調査する。これら一連の調査結果を基に、西アジア遊牧化の動因とその具体的経緯を水利面から明らかにしたい。

2. 研究の進捗状況

計画1～2年次の主目標であった分布調査は、予定通り実施された。その結果、十数件の新石器時代ダムを確認し、構造や立地条件に関する基礎的な知見を得た。また、隣接移牧拠点も数件確認し、基礎データを収集した。

計画3年次からの目標である発掘調査も、予定通り進行している。2010年の3～4月には、シリア中部の先土器新石器時代出先集落ワディ・アル・ハッジャーネ1 (Wadi al-Hajana 1) と、これに隣接する天然貯水ダムを発掘した。また、同年9月には、ヨルダン南部の先土器新石器時代移牧拠点ワディ・クウェイール17 (Wadi Quweir 17) と、これに付帯するダム群であるワディ・クウェイール106 (Wadi Quweir 106) を、一体的に調査した。続く2011年3～4月には、シリア中部の初期遊牧民遺跡ファカット・ビデウイ1を発掘した。

これら一連の調査によって、①西アジア周辺乾燥域における新石器時代ダムの大半が、

貯水目的ではなく、貯留式灌漑を目的としたものであったこと、②ダムの周囲に、その運営母体となる同時代の移牧拠点が伴っていたこと、③従って、先土器新石器時代の移牧は、ダムの貯留式灌漑農耕によって支えられていたこと、が改めて確認された。また、ダム・移牧拠点の一体的調査によって、④貯留式灌漑農耕の宿命とも言える塩害を回避するため、ダムは周辺乾燥域に普遍的な小規模閉鎖水系にではなく、数少ない半開放水系に好んで立地していること、⑤にもかかわらず、貯留式灌漑農耕の継続的实施によって塩害が起こっていたこと、⑥その結果、ダムと移牧拠点を移動せざるを得ず、数少ない半開放水系を次々と塩害化させることとなり、⑦最終的には遊牧化への道を辿った、という重要な知見が得られた。

だとすれば、貯留式灌漑用ダムに支えられた先土器新石器時代の移牧は、気候変動の如何に関わらず、当初から遊牧化の契機を内包していたことになる。こうした新たな展望を得たことが、3年間の最大の成果である。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）

特に遺跡調査に限っては、予定以上の進捗を示している。花粉・ケイ藻などの関連データが得られていない点が唯一の懸念材料であるが、乾燥域の場合、これはある程度やむを得ない。これらについては、今後の調査で補っていきたい。

4. 今後の研究の推進方策

貯留式灌漑ダムの塩害問題と、これに起因する移牧拠点の移転・遊牧化問題に焦点を絞

り、引き続き調査を進めたい。そのためには、考古学的データだけでなく、ダム灌漑農地の土壌塩分・pH・周辺植生等の基礎データが重要となる。調査体制・調査項目を再点検し、残る2年間で遊牧化問題に関わるより包括的な結論を得たい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計8件)

- ① 藤井純夫・足立拓朗・長屋憲慶 (2011)「新石器時代ヨルダンの移牧拠点とダム：ワディ・クウェイール17, 106号遺跡の緊急発掘調査(2010年)」西アジア考古学会編『第18回西アジア発掘調査報告会報告集』40-45、査読無し。
- ② 藤井純夫・足立拓朗 (2011)「シリア、ビシユリ山系の遊牧化過程：ワディ・アル・ハッジャーネ1号遺跡の発掘調査(2010年)」西アジア考古学会編『第18回西アジア発掘調査報告会報告集』81-86、査読無し。
- ③ Fujii, S. (2010) A Comprehensive Review of Neolithic Water Catchment Facilities in the Jafr Basin, Southern Jordan: A Preliminary Report of the Jafr Basin Prehistoric Project, Phase 3, 2009. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 54 (印刷中). 査読無し。
- ④ Fujii, S. (2010) Wadi Abu Tulayha and Neolithic Dam Survey in the Jafr Basin. *American Journal of Archaeology* 114: 552-554. 査読あり
- ⑤ 藤井純夫 (2010)「新石器時代のダム：ヨルダン南部ジャフル盆地における新石器時代水利遺構の再踏査(2009)」西アジア考古学会編『第17回西アジア発掘調査報告会報告集』49-54、査読無し。
- ⑥ 藤井純夫 (2009)「沙漠のドメスティケーション - 遊牧化過程の考古学的研究」山本紀夫編『ドメスティケーション - その民族生物学的研究』国立民族学博物館調査報告84: 519-553. 査読無し。
- ⑦ Fujii, S. (2009) Wadi Abu Tulayha: A preliminary report of the 2008 summer final field season of the Jafr Basin Prehistoric Project, Phase 2. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 53:173-209, 査読無し
- ⑧ Fujii, S. (2008) Wadi Abu Tulayha: A Preliminary Report of the 2007 Summer Field Season of the Jafr Basin Prehistoric Project, Phase 2. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 52: 445-478, 査読無し

[学会発表] (計5件)

- ① Fujii, S. The origin of cheetah-hunting:

New Evidence from Wadi Abu Tulayha, southern Jordan. *International Conference of the History and Archaeology of Jordan*, 2010.6.8. Institut National d'Histoire de l'Art, Paris.

- ② 藤井純夫・遠藤仁「新石器時代のダムヨルダン南部ジャフル盆地における新石器時代水利遺構の再調査(2009)」第17回西アジア遺跡発掘報告会、2010年3月27日、サンシャイン文化会館(東京都)

- ③ Fujii, S. A half-buried cistern at Wadi Abu Tulayha: A key to tracing the pastoral nomadization in the Jafr Basin, southern Jordan. *Jordan's Prehistory, Past and Future Research*, 2009.5.26. Department of Antiquities of Jordan, Jordan.

- ④ 藤井純夫・長屋慶憲 新石器時代ヨルダンの移牧春营地-ワディ・アブ・トレイハ遺跡の第6次調査(2008)、第16回西アジア遺跡発掘報告会、2009年3月14日、サンシャイン文化会館(東京都)

[図書] (計2件)

- ① Fujii, S. (2010) A half-buried cistern at Wadi Abu Tulayha: A key to tracing the pastoral nomadization in the Jafr Basin, southern Jordan. *Jordan's Prehistory, Past and Future Research*. (印刷中)

- ② Fujii, S. and Adachi, T. (2010) Archaeological investigations of bronze age cairn fields on the northwestern flank of Mt. Bishri. *Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria. al-Rafidan special issue*: 61-78.